



豊麗のしまー久米島地域活経済活性化プロジェクト

公衆Wi-Fiを活用した観光・住民サービスの充実

平成27年 7月14日



久米島町役場 プロジェクト推進室

幸地 和史



1. 久米島町の紹介



目次

1. 久米島町の紹介
2. ICT街づくり事業の概要
3. ICT街づくり事業の成果
4. 今後の取組



久米島の概要

- 人口 8,238人、世帯数 3,955世帯（2015年6月末現在）
- 平均気温 23.2度
- 面積 59.11Km² 沖縄県で5番目に大きな島
（1位 沖縄本島、2位 西表島、3位 石垣島、4位 宮古島）

沖縄本島から西へ約100kmに位置し、沖縄本島から**飛行機で約30分**、船で約3時間で行くことができます。
久米島は島の随所に優れた景勝地を擁するとともに歴史的、文化的遺産や風土的景観にも恵まれ**島全体が県の自然公園**に指定されています。



久米島の代表的な観光スポット

ハテの浜



畳石



バーデハウス久米島



宇江城跡



久米島シーサイドパークゴルフ場





久米島の特産品

伝統的な特産品（サトウキビ、久米島紬、泡盛）



日本の紬
のルーツ



泡盛売上ランキング第1位
(久米島の久米仙)

海洋深層水を使った新しい特産品（水、塩、化粧品、車エビ、海ぶどう）



車エビ生産
日本一



海ブドウ生産
日本一



久米島の課題

✓ 人口減少・少子高齢化

✓ 産業の停滞

- 農業後継者不足
- 耕作面積の減少
- 観光客数の伸び悩み

✓ 情報格差



「豊麗の島-久米島」について

久米島町の将来像を「豊麗の島-久米島」とし、その実現に向けての目標を「ホテル飛び交う麗しのしま」、「活気みなぎる創業のしま」、「安らぎに満ちた健やかなしま」、「薫り立つ文化を創るしま」、「個性輝き夢追う人を育むしま」の5つとし、人口規模1万人を目指し取り組んでいます。

久米島町の政策方針

政策1 一次産業の復活

政策2 教育の再生

政策3 観光産業の再生

政策4 福祉の充実

政策5 公共事業の推進

政策6 次世代産業の誘致



久米島町の取組

久米島町は、**海洋温度差発電と海洋深層水の複合利用による産業創出の成功**を皮切りに、**離島という地勢的条件を最大限に活用した世界最先端の取組**となる下記の5事業を強力に推し進めることで、**新産業と「しま」の雇用の創出による「しま」の定住人口・交流人口の増加**を目指しています。

既存事業	推進事業（5本柱）	事業目標／効果	事業の現状	目標
海洋温度差発電 海洋深層水の複合利用による産業創出	世界初の島の電力の100%再生可能エネルギー化	<ul style="list-style-type: none"> 島の電力（10メガワット）の100%再生可能エネルギー化 全島スマートグリッドの導入 停電のない島の実現 海洋資源利用等の関連産業の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 50キロワットの実証実験施設稼働開始済 H26海洋再生可能エネルギー実証フィールドに選定 	新産業と「しま」の雇用の創出による「しま」の定住人口・交流人口の増加
	世界初の全島Wi-Fi網とアプリケーションサービスによるICT基盤の整備（通称：全島WiFi）	<ul style="list-style-type: none"> 住民サービスの充実による安全安心社会の実現（防災、福祉、医療、教育他） 観光客、企業の利便性向上（インターネット環境の強化） 	<ul style="list-style-type: none"> H25総務省ICT街づくり推進事業採択済 H26総務省G空間シティ構築事業採択済 	
	世界初のロボットモビリティのセンタ制御自動走行システム実証実験（通称：久米モビ）	<ul style="list-style-type: none"> 世界初最先端技術の実証 研究施設、関連企業の誘致 交通弱者の移動手段の確保 観光、資材、流通等の関連産業の育成 	<ul style="list-style-type: none"> H25特定地域再生計画（内閣府）認定済 3月14日に久米島高校で体験試乗会開催 デモ及び体験試乗会開催予定 	
	世界初の海洋深層水を使った植物工場と冷蔵コンテナによるコールドチェーン構築（通称：久米アグ）	<ul style="list-style-type: none"> 島の農業の活性化 島内における野菜の安定供給 島外への付加価値野菜の供給 	<ul style="list-style-type: none"> H26より海洋深層水を使った施設園芸を開始。植物工場・コールドチェーンの導入に関しては今後検討予定 	
	日本一の先進的な離島ICT教育モデルの構築	<ul style="list-style-type: none"> 久米島と周辺離島、沖縄本島、本土、海外を結んだ児童・生徒間の教え合いによる学力向上と情報格差の是正 琉球大学サテライトキャンパスの誘致 久米島高校魅力化事業 	<ul style="list-style-type: none"> H24特別支援教育用タブレット導入済 久米島高校への他地域からの離島留学生5名受入 	



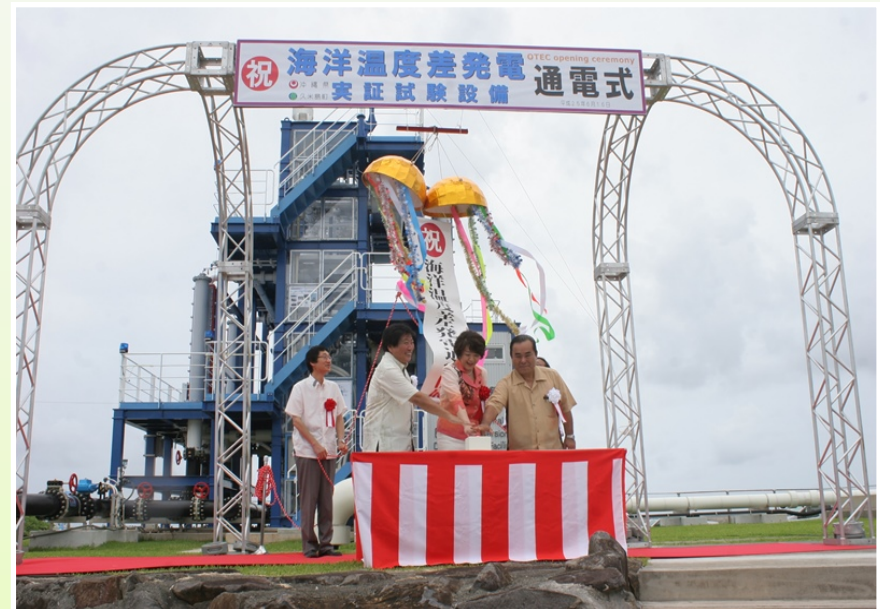
久米島町の取組のご紹介（海洋深層水の複合利用）

日本最大



沖縄県海洋深層水研究所
沖合約 2.3 km
水深 612 m
日量 13,000 t 日本最大規模の施設

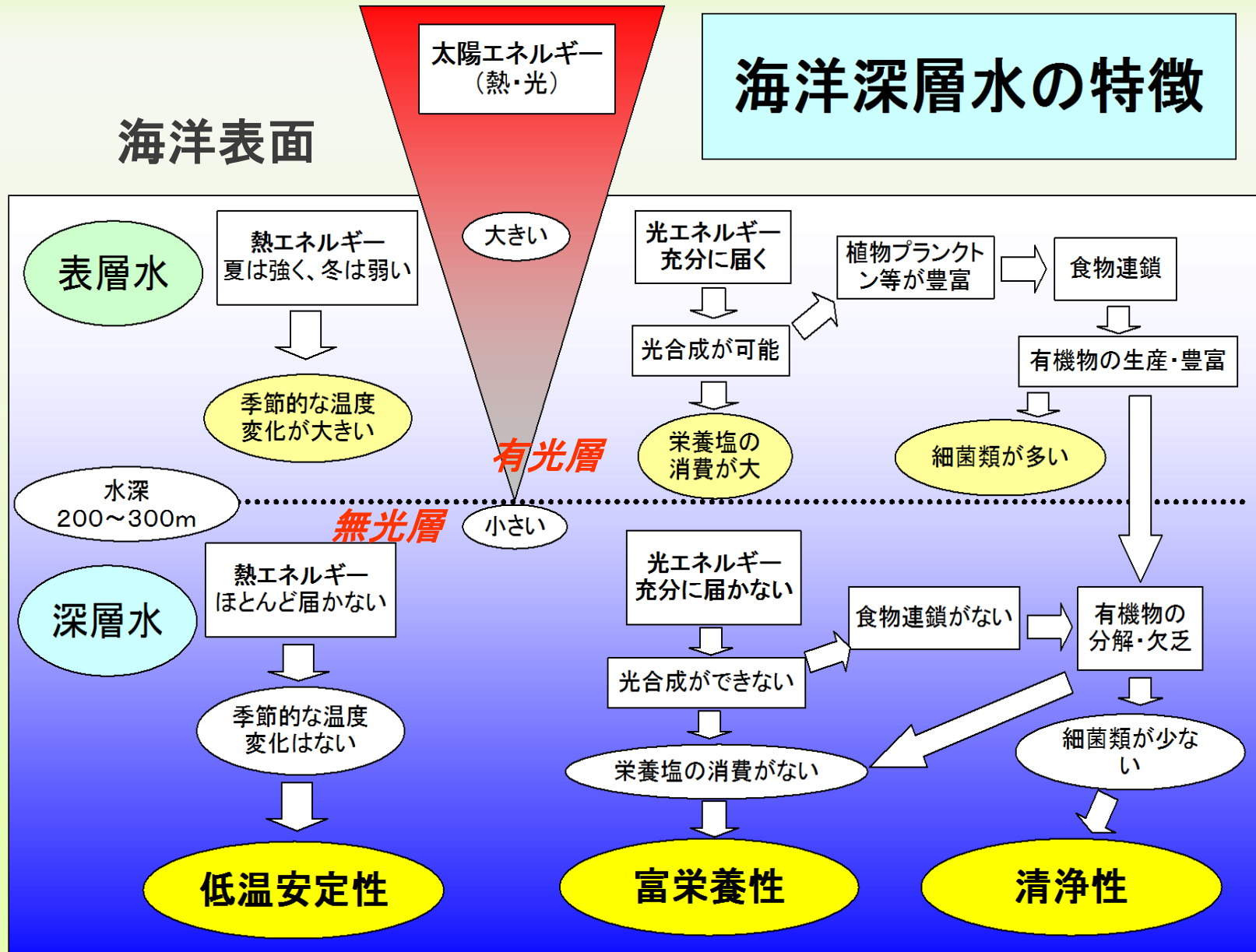
世界唯一



海洋温度差発電実証設備
発電規模 50 Kw × 2
実海域の海水を活用して稼働している世界唯一のプラント



久米島町の実践のご紹介（海洋深層水の複合利用）





久米島町の取組のご紹介（海洋深層水の複合利用）

久米島町では10年以上にわたり、海洋深層水を中心とした町の活性化を進めており、真謝地区にある沖縄県海洋深層水研究所は2000年の開所以来、先頭に立って水産分野、農業分野を中心に様々な複合利用技術を研究開発し、民間企業への技術移転を行ってきた。



ビジネスパーク

- ①クマエビ種苗センター
- ②ウミブドウ・オゴノリ養殖場
- ③化粧品製造工場

沖縄県海洋深層水研究所

深層水取水量

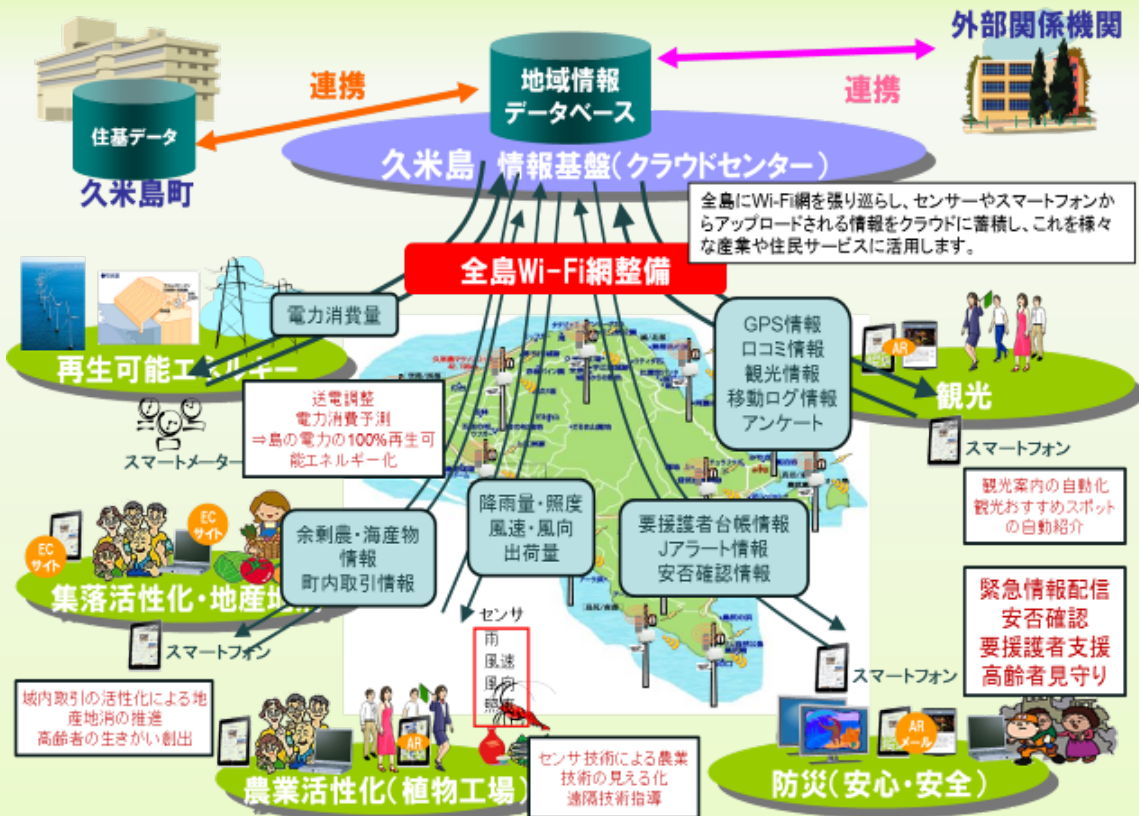
13,000 t/dは日本最大

出典：海洋深層水利用学会 2010年全国大会 久米島町発表資料（一部追記）

2. ICT街づくり事業の概要



ICT街づくり事業の事業概要



Wi-Fi網を全島に張り巡らせ、いつでもどこでもインターネットに接続できる環境をつくり、これを共有することで、低コストで様々なサービスを導入しています。

25年度においては、Wi-Fi網を活用した地産地消経済循環システム、観光AR、高齢者見守り、防災メールの導入を行いました。

今後、教育分野、センター制御による自動走行システム、スマートグリッド、農業や酪農へのICT利用等のサービスにおいても利用していく予定です。

地産地消
経済循環
システム

観光AR

高齢者
見守り
システム

防災
安心安全
システム

ICT教育
自動走行
スマートグリッド
農業ICT
酪農ICT

Wi-Fi / ID 認証システム



事業のねらい

久米島町の課題

少子高齢化



農業（特に野菜）の停滞
（後継者不足、耕作面積減少）



観光産業の伸び悩み



情報格差



ICT街づくり事業の取組

高齢者の見守り
・高齢者の生きがいづくり
（見守りシステム・地産地消の推進）

廃棄野菜の活用
（地産地消の推進）

観光情報発信力の強化
（観光ARアプリの導入）

通信基盤の充実化
（Wi-Fi網の整備）



事業のねらい

ICT街づくり事業の取組

Wi-Fi網の整備

観光客の利便性向上と観光客への情報配信ツールとしての役割を果たすとともに、住民向けには、Wi-Fi網上で各種サービスを展開し、低料金で利用できるようなインフラとしての役割を果たします。今後、さらにサービスのラインナップを充実させ、住民サービスの充実化、地域活性化に活用します。

地産地消経済サイクルサービス

高齢の野菜農家では、農協等の流通網に乗せられない程の零細経営となっていますが、収穫が間に合わずに立ち枯れになっている野菜が多くあります。これを町内のホテルや飲食店に販売する仕組みを作り、高齢の農家の生きがい創出と地産地消の推進による地域活性化を図っていきます。

高齢者・要援護者支援サービス

今後町内で増えていく高齢者が安心して暮らせる環境を整え、島の約4分の1を占める高齢者を中心としたコミュニティが活性化することで、島全体が活性することを狙いとして、コミュニケーション端末を使った高齢者の見守りサービスを導入しました。

観光ARアプリ

AR（拡張現実）技術を使ったスマートフォン向けの観光案内アプリを導入することで、観光情報の発信力を強化するとともに、観光客に島内観光をより楽しんでもらうための仕組みづくりを行いました。島内の各種イベント等とも連携し、地域メディアの一つとして活用していきます。

防災サービス

防災無線、コミュニティFMに加え、防災メールシステムを導入することで災害情報や行政情報の配信手段を多重化し、住民だけでなく、観光客も含めた安心・安全を確保しつつ、より多くの情報を行政・住民で共有することで情報格差解消を図ります。



公衆Wi-Fi上で提供するサービス

"豊麗のしま久米島"地域経済活性化プロジェクト

地産地消経済サイクルサービス



島内で育てられた地元の新鮮な野菜や果物を、安く購入できます。

少量の物流にも対応できるため、生産量の少ない高齢者農家でもホテル・飲食店に農産物を提供できます。

将来的には海産物や畜産物も含め地元物産品の販路を拡大し、地元経済の活性化を実現します。

地産地消
地元のものを地元で消費！

農家・高齢者 ← 運用管理者 → ホテル・飲食店

現切り品や収穫の多かった野菜を提供
1,000 5,000 10,000
販売・決済・搬送 取引のサポート

地元産の野菜を安く購入

"豊麗のしま久米島"地域経済活性化プロジェクト

高齢者・要援護者支援サービス



一人で自宅にいる高齢者を、みんな（保健師・訪問ヘルパー）でタブレットを使って遠隔で見守ります。

TV電話（タブレット）で顔を見ながら保健師とコミュニケーションすることができます。

自宅に居ながらすぐに誰かにつながる安心生活を提供します。

高齢者・要援護者支援
お年寄りをみんなで見守る！

高齢者宅 高齢者

役場 & 社協 保健師 ヘルパー

遠隔体調管理・お知らせメール
TV電話で相談

- 毎日の健康情報の登録
- 毎月の問診登録（アンケート）
- 訪問先高齢者の健康情報の登録

- 健康情報の確認
- 問診情報の確認

遠隔問診・定期訪問

"豊麗のしま久米島"地域経済活性化プロジェクト

観光ARサービス



スマートフォンで、久米島の観光スポット、お食事処に迷わずご案内します。

スタンプラリーでスタンプを集めると、クーポンや景品がもらえます。

災害時には、防災MAPで避難場所確認、プッシュ一斉配信で情報を素早く受け取れます。

ARスタンプラリー

観光客

スタンプラリーで景品ゲット

スポット（お食事処）

スポット（お土産店）

カメラを使ってスポットを撮影

おさんぽAR

AR画像を使った記念撮影

観光AR
久米島のあらゆるスポットを紹介！


記念撮影

防災MAP

クーポン

"豊麗のしま久米島"地域経済活性化プロジェクト

防災(安心・安全)サービス



災害時には防災情報をメールで配信します。ケータイ、スマートフォンでも防災情報を入力できます。

大規模災害時には、家族の安否確認（家族の避難先の確認）ができます。島外の方でも利用できます。

様々な日常的な情報もメールで配信します。
・行政情報、観光情報
・イベント情報、お買い得情報
・小中学校PTA情報

地震情報
津波情報
火山情報
気象情報
有事関連情報

メール一斉配信による緊急連絡

安心・安全
日頃から活用して防災に備えを！

防災担当者からメール一斉配信

安否確認登録・閲覧

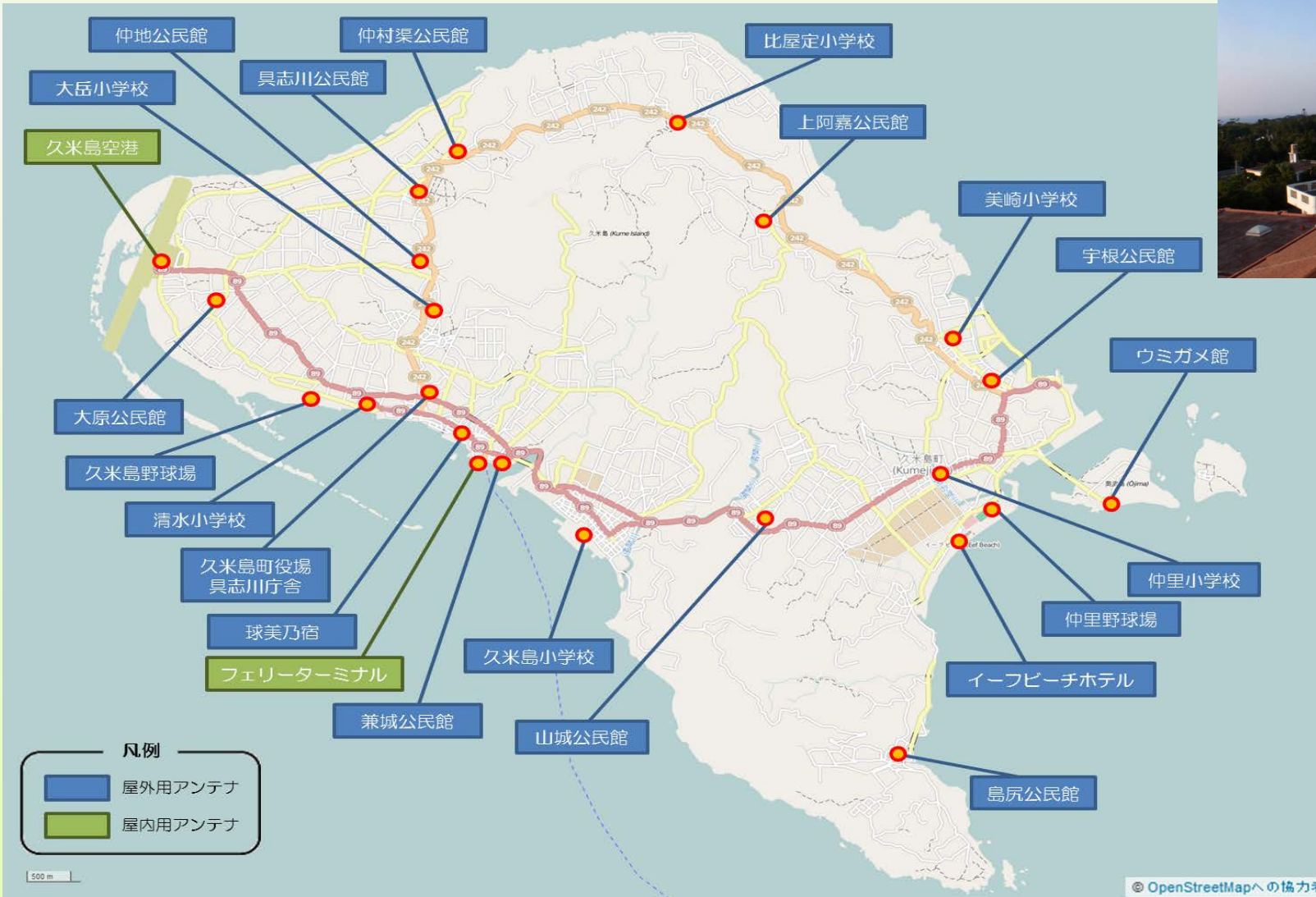
職員

住民

3. ICT街づくり事業の成果



公衆Wi-Fiアクセスポイント設置箇所



アンテナの設置例

※公衆Wi-Fiのアクセスポイントは、28本（屋外、屋内）を設置済み



公衆Wi-Fiの想定利用者と認証方法

公衆Wi-Fiは、久米島町の住民と久米島を訪れた観光客が利用可能。
公衆Wi-Fiに接続する際の認証方法は、利用者カテゴリ毎に分けて対応。

利用者カテゴリ	公衆Wi-Fi名称	認証方法	備考
住民	住民向けネットワーク	ユーザ認証 [IDとPW]	インターネット接続有 [アクセス制限：無]
住民 (高齢者見守り・ 地産地消)	見守り・地産地消ネットワーク	ユーザ認証 [IDとPW]	システム専用 インターネット接続有 [アクセス制限：無]
観光客	観光客向けネットワーク	接続認証	インターネット接続有 [アクセス制限：有]

公衆Wi-Fiステッカー



観光客向 接続認証



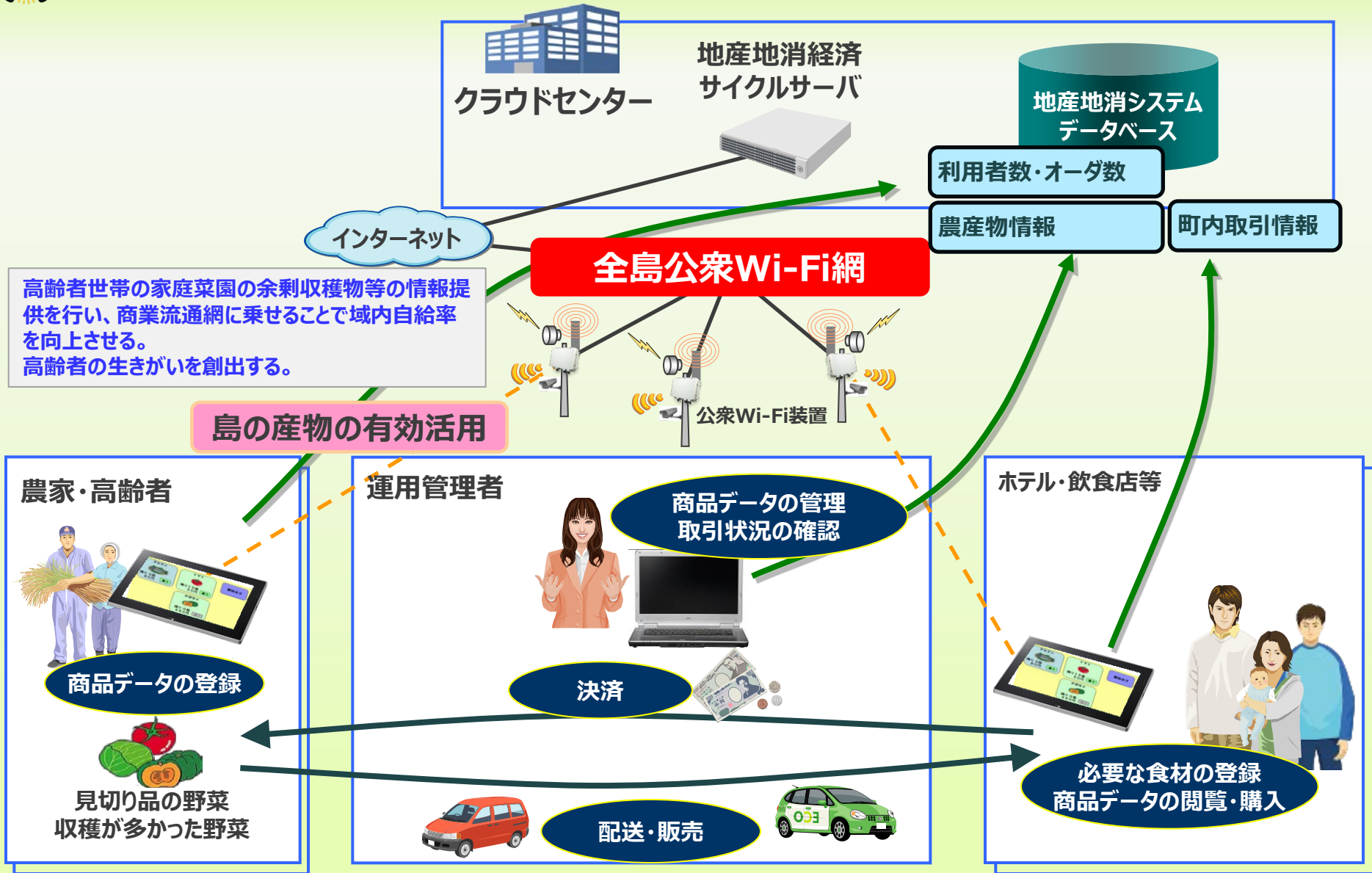


公衆Wi-Fiの導入による効果

- 住民向け・観光客向けのICTサービス提供のための基盤としての活用
 - 地産地消経済サイクルシステム
 - 高齢者・要援護者支援システム
 - 防災（安心・安全）サービス
 - 観光ARサービス
- 住民による利用
 - 運用を開始してから約 2 4 1 名の申請があり利用中。
- ふるさと納税者の増加
 - 公衆Wi-Fiの報道を受け、3 件のふるさと納税の申し出がありました。
- 企業進出の打診
 - 公衆Wi-Fiの報道を受け、1 件のIT関連企業の久米島への拠点整備の打診があり、現在検討中



地産地消経済サイクルサービスの概要





地産地消経済サイクルサービスの実施風景

農産物の収穫



農産物の出荷準備



オーダー確認





地産地消経済サイクルサービスの成果

<事業成果（期間：1月10日から3月14日）>

利用者数：のべ262団体・名（生産者170団体・名、購買者92団体）

登録者数：32名（生産者23団体・名、購買者9団体）

取引数：累計262件（1日当たり平均4.26件）

取引実績：1月：40,250円 2月：113,330円 3月（～3/14）：64,730円
合計：218,310円

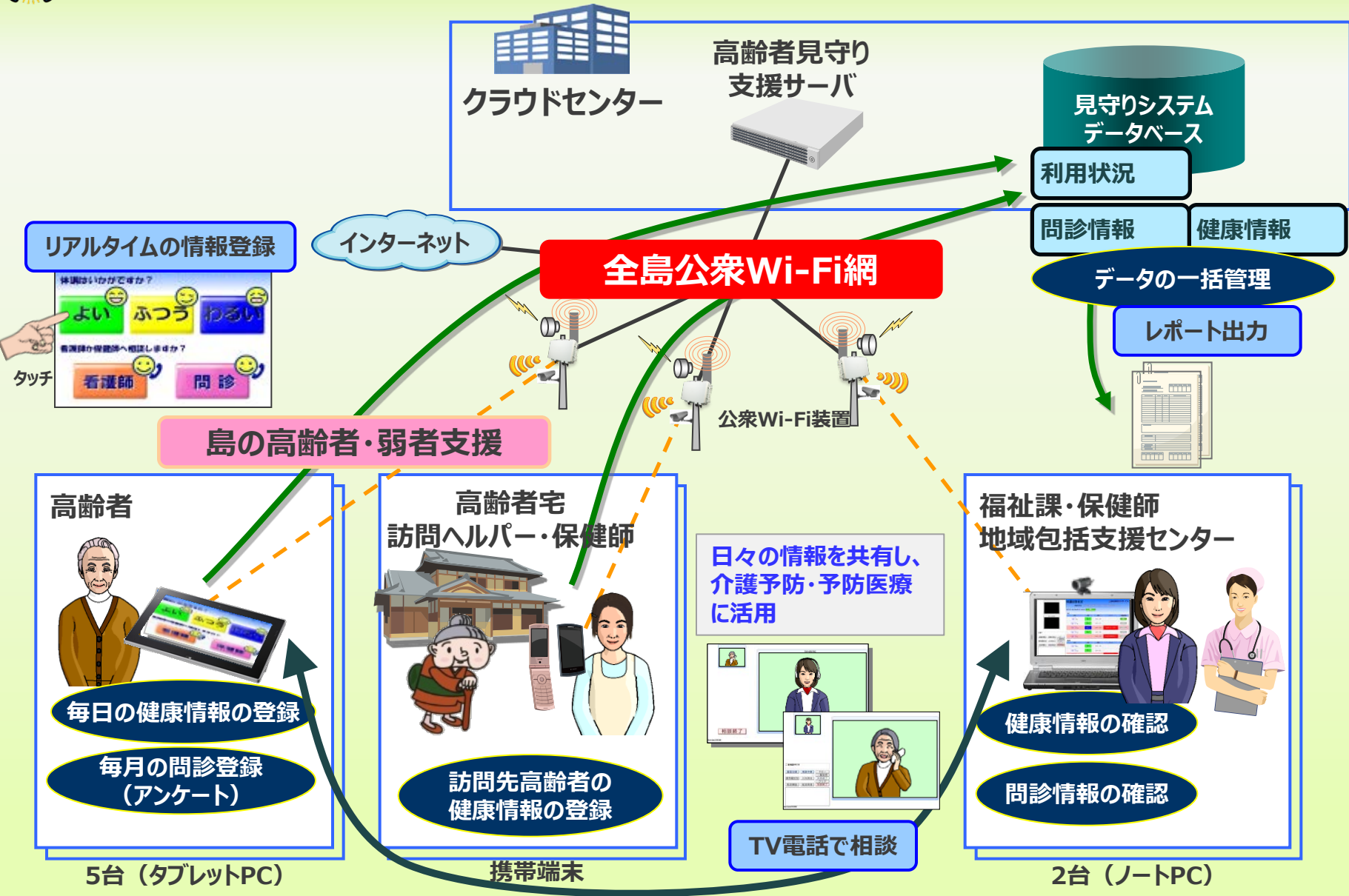
- ✓ 地産地消の推進体制の構築
 - ✓ B級品の販売による農家の所得向上（一戸あたり月額4,000円の増収）
- 久米島の野菜農家1戸当たり平均の野菜販売実績：541,629円（平成22年度）
⇒野菜農家の年間野菜販売額9%増を見込んでいます。

<課題>

- ✓ 商品の安定供給のためには、提携する生産農家の拡大と保存設備等の整備が必要！
- ✓ 事業の自立的運営のため取引規模の拡大、取扱い商品の高付加価値化等の対応が必要！



高齢者・要援護者支援サービスの概要





高齢者・要援護者支援サービスの実施風景

高齢者宅での健康状態の登録と電話での安否確認



久米島町役場 福祉課での安否確認





高齢者・要援護者支援サービスの成果

<事業成果（期間：2月3日から3月14日）>

支援対象者：5名

システム利用回数：のべ200回（1日当たり平均5回）

問診回数：8回実施

✓ 見守りの省力化

久米島町では独居高齢者に週3回電話をする「ふれあいコール事業」を行っていますが、当サービスによって高齢者の安否と体調確認が高い頻度（毎日）で手軽に確認できるようになります。

✓ 見守り体制の強化

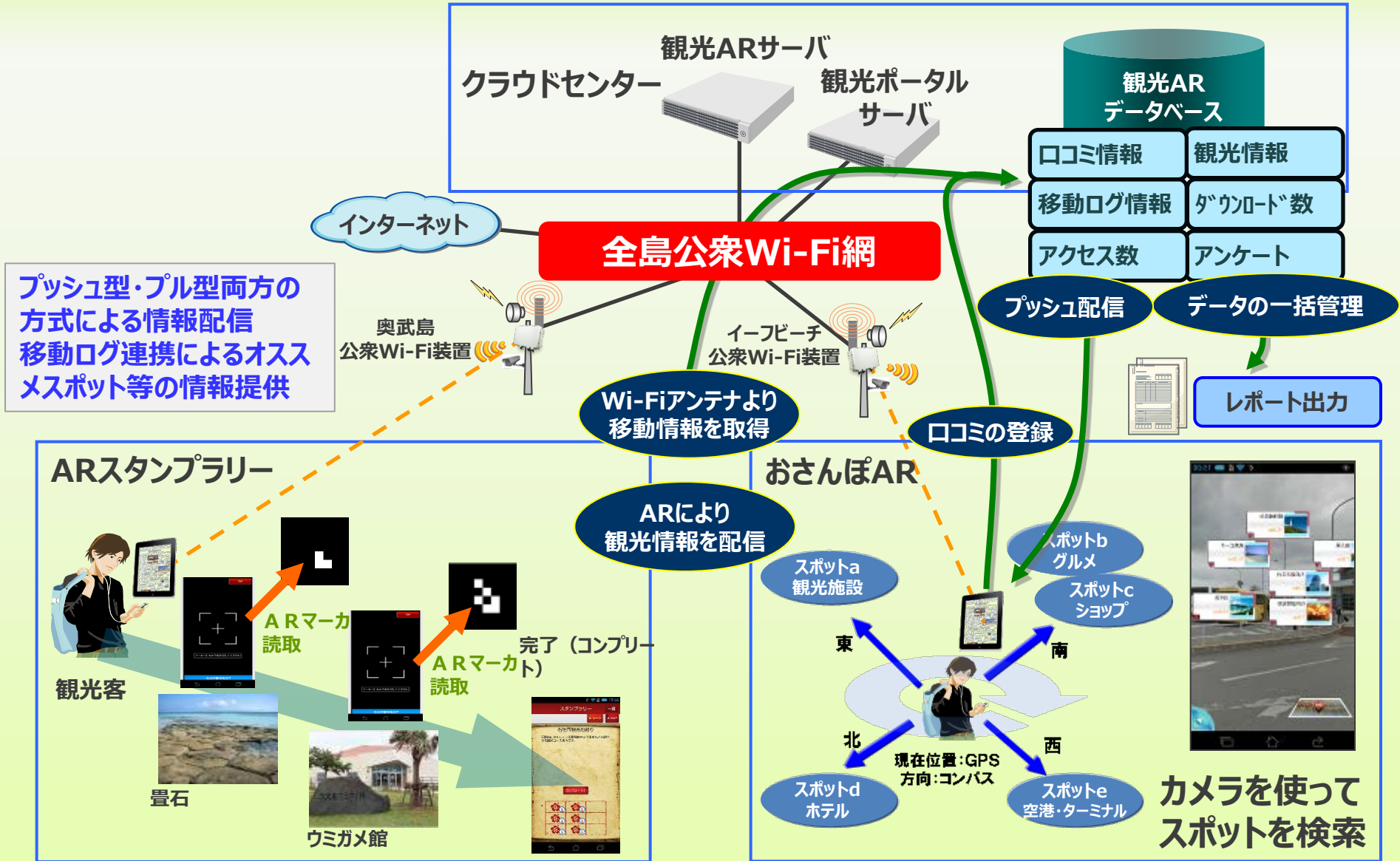
見守り対象者の情報を見守る側の関係者間で情報共有することができるようになり、結果として高齢者の見守り体制が強化できます。

<課題>

- ✓ より安心安全な町ぐるみの見守り体制構築には、医療機関とも情報共有を行うことが必要
- ✓ 支援対象者を容易に増やせるようにするためには、タブレットだけでなく、スマートフォンでも利用できるようにすることが必要



観光ARサービスの概要





観光ARサービスの概要

スタンプラリー「久米島めぐり」コース



登録済ARコンテンツ

久米島PV

くーみんBook
学習プログラム



記念撮影用フォトフレーム





【参考】観光ARサービスの広報活動

チラシを空港、ホテルなどに設置

観光ARサービス
久米島のあらゆるスポットを紹介！

スタンプラリーで集めるポイント
おさんぽAR
AR撮影を促した記念撮影
防災MAP
クーポンでお得！

ARアプリのインストール方法

iPhoneの場合

- 1 「APPストア」から
- 2 「久米島観光ナビ」で検索
- 3 インストールボタンを押してインストール。

Androidの場合

- 1 「Playストア」から
- 2 「久米島観光ナビ」で検索
- 3 インストールボタンを押してインストール。

「豊麗のしま久米島」地域経済活性化プロジェクト

空港でのポスターの掲示



空港でのダウンロード



イベントでのPR





観光ARサービスの成果

<事業成果（期間：11月8日から3月14日）>

累計ダウンロード数：526件

スタンプラリーコンプリート数：49件

「いいね」ボタン押下数：75件

観光スポット閲覧数：474件

観光ポータルサイトアクセス数：5,713回（3月2日の1日間）

入域観光客数：11月：4,796人、12月：4,947人、1月：5,054人、2月：5,620人

※11月以降の入域観光客数は、昨年度と比較して約1%増となっております。

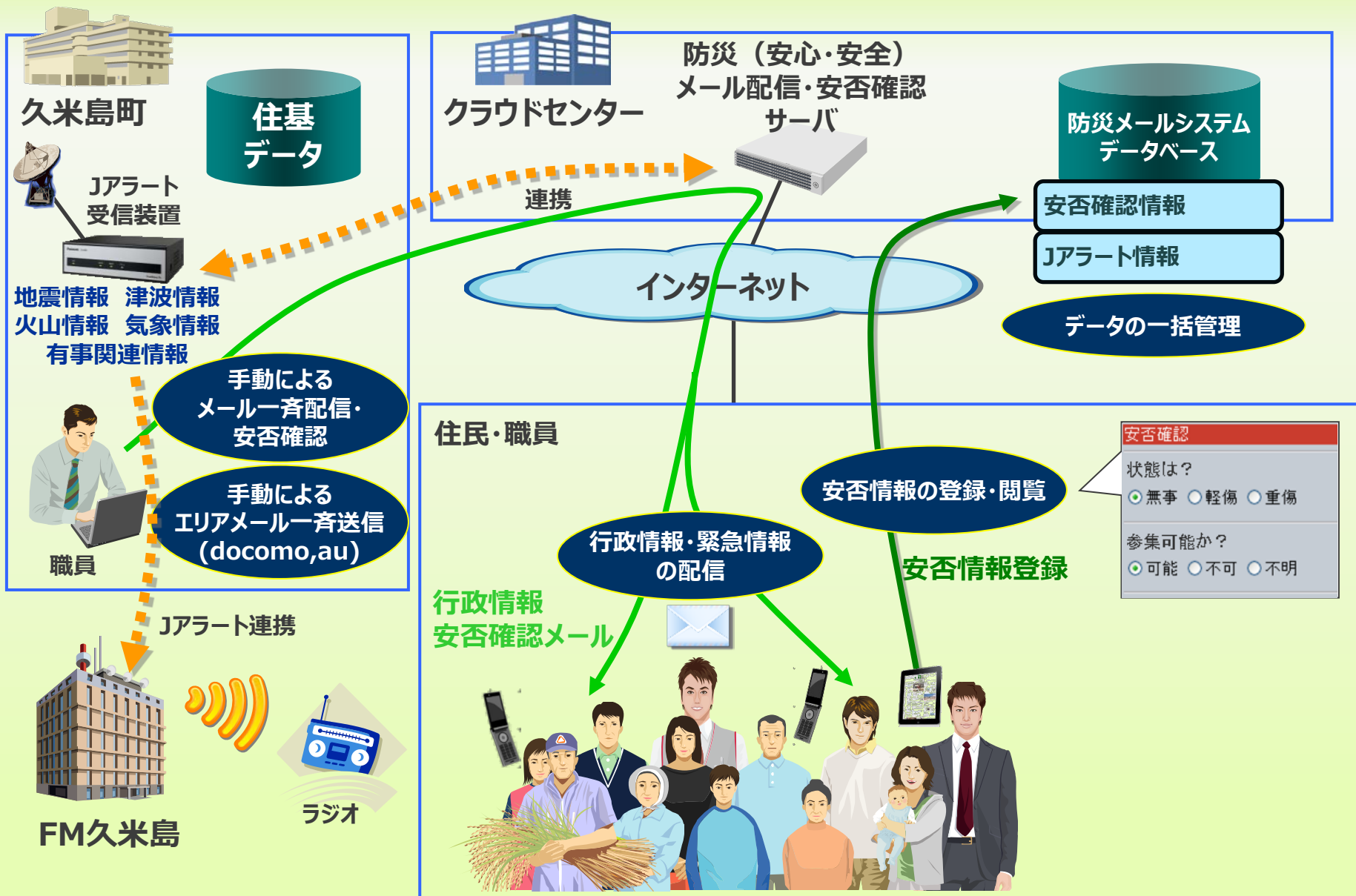
✓ 観光客向けの独自メディアの構築

実際の効果測定や観光での本格利用は今後となりますが、沖縄のガイドブック等において掲載情報量が少ない久米島において、観光客に訴求するためのローカルなメディアを構築することができたと考えられます。

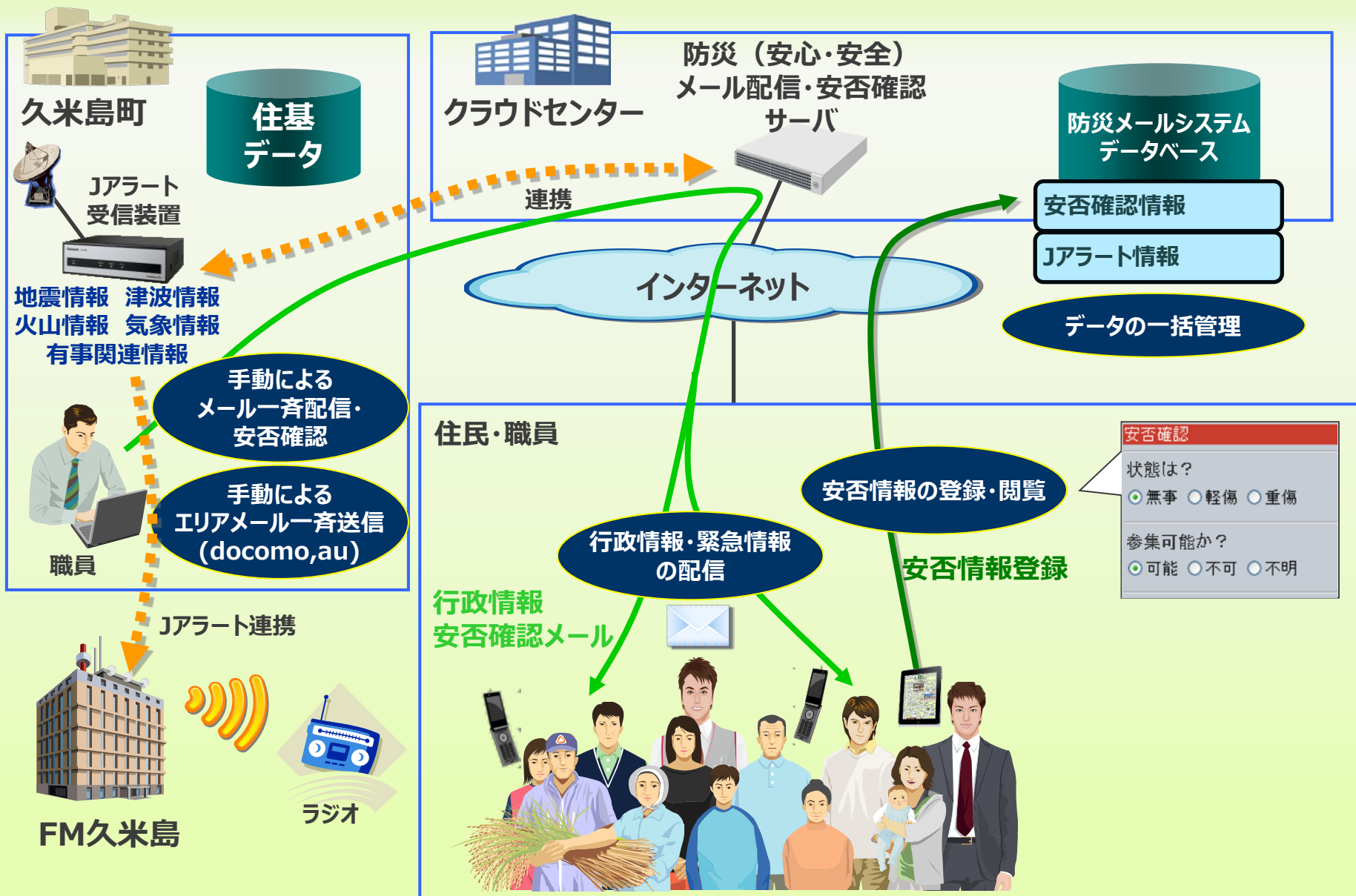
<課題>

- ✓ スマートフォンアプリを継続的に観光客にダウンロードさせる仕組み作りが必要
- ✓ 住民にも観光ARサービスを利用してもらうための取組を行うことで地域の活性化に活用していくことも必要

防災（安心・安全）サービスの概要



防災（安心・安全）サービスの概要





【参考】防災（安心・安全）サービスの広報活動

下図のようなチラシを町内全戸に配布

防災メールの利用登録をしましょう!
メルマガ登録すると各種情報が届きます!

●行政情報
●イベント情報

行政情報
携帯電話
スマートフォン
イベント情報

登録は簡単

登録手順

- 1 携帯電話・スマートフォンもしくはパソコンで、下記のメールアドレスまたはQRコードから空メールを送信します。
p-a9479565@mms02.okinawacloud.com
- 2 登録用メールが送信されてきたら、メールにあるURL(アクセス先)をクリックします。
- 3 登録画面から氏名・連絡先を入力し、必要な情報を選択して送信(登録)して下さい。登録が完了するとメール送信されます。

久米島町役場のホームページにも掲載されています。

久米島町広報誌（2月号）への掲載

久米島町ICT街づくり推進事業シンポジウム開催



久米島町ICT街づくり推進事業シンポジウムが平成25年12月19日に開催されました。このシンポジウムは総務省の「ICT街づくり推進事業」の予算を活用し、本町で取り組んでいる「豊麗のしま久米島地域経済活性化プロジェクト」を多くの町民に知ってもらうこと、また活用してもらうことを目的としています。シンポジウムは2部構成で開催され、第1部では町長の挨拶のあと、島尻安伊子参議院議員、上原仁沖繩総合通信事務所長の来賓あいさつ、基調講演がありました。

ICTとは、Information and Communication Technology(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)の略。一般的には「情報と通信技術」と訳されています。Wi-Fiとは、wireless-fidelity(ワイヤレス・フィデリティ)の略。【無線通信】

第2部では事業の基盤である全島Wi-Fiの概要説明のほか、「地産地消システム」「防災メール」「観光AR」「高齢者の見守りシステム」が各ブースにおいて説明されました。全島Wi-Fiについては屋外での使用を想定しており、島内全世帯の95%を網羅しています。今後は電波状況を調査し、2014年度以降にすべての世帯をカバーする予定です。

「防災メール」へ利用者登録しましょう!

久米島町民の皆様のお安心安全を確保するためにメールでの一斉配信と安否確認ができる「防災メール」を提供します。「防災メール」では、以下の選択された情報によってメールが配信されます。

- ・観光情報
- ・行政情報
- ・イベント情報
- ・地産地消情報
- ・お徳な情報
- ・小中学校PTA役員情報
- ・小中学校情報

また、災害時には防災情報のメール配信と安否状況登録依頼が届きます。安否状況を送信することで、家族同士の安否確認が行えるようになります。また、久米島町役場側でも安否確認を行うことができます。

下のメールアドレス宛てに空メール(件名、本文なし)を送信し、登録用メールの情報を登録ください。

p-a9479565@mms02.okinawacloud.com
【お問合せ】久米島町役場 総務課 ☎098-985-7121 FAX:098-985-7080
E-mail:soumu@town.kumejima.okinawa.jp

「豊麗のしま久米島」地域経済活性化プロジェクト

防災(安心・安全)サービス

災害時には防災情報をメールで配信します。ケータイ・スマートフォンでも防災情報を入手できます。

大規模災害時には、家族の安否確認(家族の安否確認の依頼)ができます。親族の方でも利用できます。

安否確認登録-確認

安心・安全

家族の安否確認(家族の安否確認の依頼)ができます。

防災メールからメール一斉配信

安否確認登録-確認

家族の安否確認(家族の安否確認の依頼)ができます。

親族の方でも利用できます。

ケータイ・スマートフォンでも防災情報を入手できます。

災害時には防災情報をメールで配信します。

ケータイ・スマートフォンでも防災情報を入手できます。

QRコードで簡単にアドレス設定ができます。



琉球治療院 久米島店

〒901-3108
久米島町字比嘉160-75-102
TEL)098-985-7600
FAX)098-985-7603
【ホームページ】<http://www.ryukyu-chiryoin.com/>
【担当】喜久村
【治療内容】リハビリ、機能訓練、はり、おきゅう、マッサージ
【対象者】75歳以上のご高齢者と身体障がい者

「ご自宅からでも予約・診察します」

「腰や膝の痛みがなかなか治らない...」
「治療費までなかなか行けない...」
「1人で入浴が難しい...」

「おかげさまで、腰や膝の痛みがとれた!」
「おかげさまで、腰や膝の痛みがとれた!」



防災（安心・安全）サービスの成果

＜事業成果（期間：12月13日から3月14日）＞

利用者登録数：100件（現在、学校や公民館での周知のためのセミナー開催中）

メルマガ及び安否確認の発信件数：稼働後の平均 1.3件/月

✓ 緊急時の情報伝達手段の多重化

実際の効果測定や防災訓練での利用は今後となるが、これまで電子メールによる情報配信の手段を持っていなかったため、このサービスの整備により新たな住民、観光客への情報伝達手段を追加で確保することができたと考えております。これを防災無線の内容のメールでの配信や行政情報・緊急情報、その他のお知らせ情報の配信に活用していく予定です。

✓ 住民、観光客の安心安全の向上

＜課題＞

サービスの周知活動の実施開始が遅れたため、利用登録数が少ない状況。

しかしながら、平時においては学校における学校と保護者間の連絡手段として活用したいとの町内小中学校からの申し入れがあり、現在各学校での説明会を開催して利用登録数の向上を図っている状況です。



事業広報活動

事業の住民向けの周知と対外的なPRとして、以下の広報活動を実施

- 記者会見（県庁記者クラブ）
 - ※報道各社へ事業を説明、当日・翌日報道済み
- タイムフェア出展（タイムスビル）
- シンポジウム（具志川農村環境改善センター）
- 住民説明会（具志川農村環境改善センター）
（久米島町役場仲里庁舎）

平成25年12月12日

平成25年12月13日～12月15日

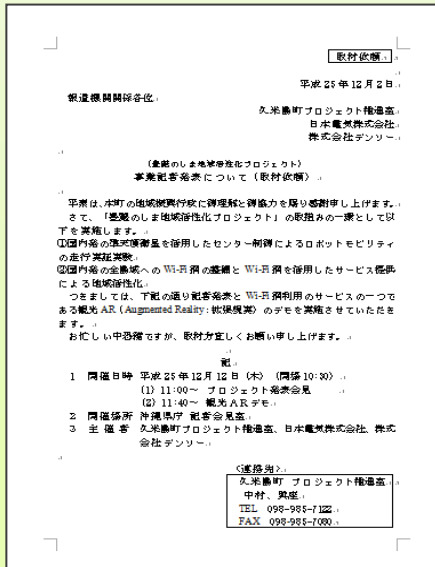
平成25年12月19日

平成26年2月12日

平成26年2月13日

また小中学校への説明会を実施（教職員に対しての説明・登録促進のみ）

記者会見（依頼文）



タイムスフェア



シンポジウム





プレスリリース

平成25年12月12日 記者会見（県庁記者クラブ）

【記者会見の様子】

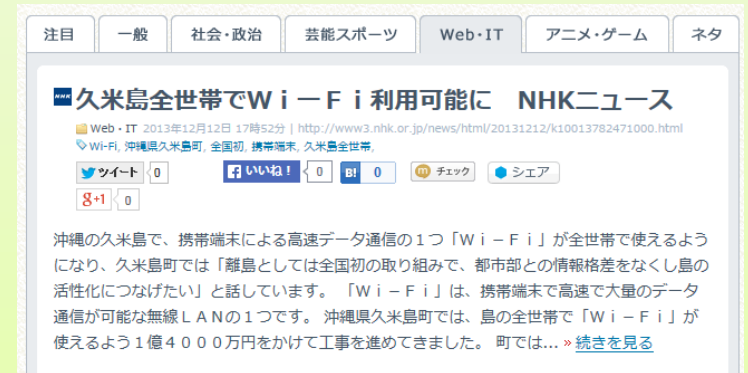


【琉球新報（12月13日）】

【沖縄タイムス（12月13日）】

【NHKニュース（12月12日）】

18時台に沖縄枠での放送





シンポジウム開催

12月19日（木）に以下の要領にてシンポジウムを開催

日時：平成25年12月19日（木） 15:00～17:00 （開場：14:30）

場所：具志川農村環境改善センター

内容：第1部

- ・主催者挨拶
- ・来賓挨拶
- ・基調講演
- ・事業概要紹介

第2部

- ・ミニセミナー開催
 - ・公衆Wi-Fi
 - ・防災メール
 - ・観光AR
- ・各ブースでの事業説明
 - ・地産地消経済サイクル
 - ・高齢者・要援護者支援システム
 - ・観光AR
 - ・防災メール

シンポジウムのチラシ

久米島ICT街づくり事業
シンポジウム開催のご案内

場所 具志川農村環境改善センター

日時 2013年12月19日(木) **入場無料**

開場 14:30～
開始 第1部 15:00～ 第2部 17:00～

久米島の平成25年度総務省ICT街づくり推進事業「豊麗のしま-久米島地域経済活性化プロジェクト」において、ICT(情報と通信技術)を活用した新たな街づくりの仕組みを町民の皆様へご説明します。多数の町民の皆様のご参加をお願いします。

タイムスケジュール

第1部
15:00～15:05 開会の辞
15:05～15:15 主催者挨拶
15:15～15:30 来賓の挨拶
15:30～16:15 基調講演
16:15～16:45 事業概要紹介
16:45～16:50 閉会の辞
休憩(10分)

第2部(ミニセミナー どなたでも自由に参加できます)
17:00～17:15 Wi-Fi利用方法
17:15～17:30 防災メール利用
17:30～17:45 観光AR
17:45～18:00 抽選会

島尻安伊子 参議院議員
境真良 国際大学GLOCOM客員研究員
平良朝幸 町長

境真良氏
1983年東京生まれ。国際大学GLOCOM客員研究員。九州大学大学院。東北大学大学院M.A.S. 大妻女子大学非常勤講師。2013年より経済産業省国際戦略情報分析官(情報産業担当)も勤める。

抽選会で
当たる!! 「iPad mini Retina」 「Nexus7」

参加者数：約300名（第1部の名簿記載者：175名）



イベント実施状況

平成25年12月13日～12月15日
タイムスフェア出展（タイムスビル）



平成25年12月19日 シンポジウム（具志川農村環境改善センター）

【基調講演】



【事業概要紹介】



【ミニセミナー】



【各ブースでの事業説明】



4. 今後の取組



久米島町の掲げる目標

久米島町では、引き続き**定住人口1万人の達成**に向け、**教育と観光・農業・新産業創出**を中心とした**産業振興**に重点的に取り組んでいます。

高校教育の充実化（生徒数増）

204名 → 240名

高校生の増加

産業振興

・農業（野菜の生産高）

60,000千円 → 200,000千円

・観光（観光客の増加）

7.9万人 → 10万人

・新産業（来訪者の増加）

0万人 → 1万人

若者の定住化

元気な高齢者の増加

地域活性化

- ・集落機能の復活
- ・活気あるまちの復活

経済活性化

・定住人口増加

8,547人 → 10,000人

×

・町民一人当たり所得増加

1,988千円 → 2,045千円
(平成21年度) (県平均)

経済効果（年間）

570,000千円

※上記数値は、平成26年4月のものです。



久米島町の今後の取組

5本柱の事業に関して、今後1、2年においては以下の取組を行う予定です。

既存事業	推進事業（5本柱）	今後の取組
海洋深層水の複合利用による産業創出 海洋温度差発電	世界初 の島の電力の100%再生可能エネルギー化	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋深層水の取水口の大口径化 ・全島Wi-Fi網を活用したスマートメータ導入
	世界初 の全島WiFi網とアプリケーションサービスによるICT基盤の整備（通称：全島WiFi）	<ul style="list-style-type: none"> ・観光と防災サービスの強化に向けた総務省H26年度「G空間シティ構築事業」の遂行
	世界初 のロボットモビリティのセンタ制御自動走行システム実証実験（通称：久米モビ）	<ul style="list-style-type: none"> ・国家戦略特区のメニューとして、公道での自動走行実証実験に向けた規制緩和の申請 ・実証フィールドとしての環境整備
	世界初 の海洋深層水を使った植物工場と冷蔵コンテナによるコールドチェーン構築（通称：久米アグ）	<ul style="list-style-type: none"> ・植物工場・コールドチェーンの導入を検討
	日本一 の先進的な離島ICT教育モデルの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・海外との遠隔授業環境の整備 ・ICT教育環境の整備（タブレット端末の児童・生徒への配布）



5本柱事業のロードマップ

5本柱事業は、概ね3年～5年の間において国の補助金等を活用しつつ実証調査を行い、その後、各事業を本格稼働させつつ、事業成果を国内外の他地域へ展開していきます。



凡例： 実証調査 本格稼働 黒字：着手済、青字：未着手



久米島スマートコンパクトアイランド構想

久米島町は、離島や過疎地域における共通課題を解決するモデルを様々な先進的な取組を通じてスマートコンパクトアイランドモデルとして構築し、これを国内外の同様の課題を抱える地域に展開していくことを産学官連携で行っていくことを目指します。

さまざまな実証実験のフィールドとなることで、久米島町に投資と人材を投入し、島を活性化しつつ、その成果を他地域への展開の中で享受していくモデルの構築を目指します。

スマートコンパクトアイランドとして 実現すべき久米島の姿

- ✓ 高い教育水準の確保
- ✓ 安定的な雇用の確保
- ✓ 安心・安全の確保
- ✓ 情報格差の解消
- ✓ 医療・福祉の充実化
- ✓ 安定的で低コストのエネルギー供給
- ✓ 若者の定住化



最後に



久米島は
最先端の技術と豊かな自然が体験できる島です！

